

人権週間講話 2023.11

藤岡中の校長先生からお便りが届きました。それは、藤岡小の児童が落とし物を拾い、そのお母さんが中学校に届けてくれたというお話でした。その落とし物は中学生にとって大切な記念の品でした。校長先生は、「拾ってくれた小学生とわざわざ届けてくださったお母さんの優しさ」「落とした中学生が悲しんでいるのではないかと想像し、他者の気持ちを想像できる」小学生に心打たれ、お便りをいただきました。

今週は、人権週間です。どのクラスでも「人権」ということについて担任の先生からお話があったと思います。言葉は難しいかもしれないけれど、わたしたち人間にとって、大人にも子どもにも、身近なことです。

わたしたちはだれに対しても親切と思いやりの心をもって接する、自分以外の人も大切にする、ということです。

クラスのなかではどうですか？お友達に親切にしていますか？お友達は親切ですか？

けんかをしたり、いやなことをいわれたりして悲しい気持ちになることもあるかもしれませんが、それでも、また思いやりの心をもって接することができるように努力することが大切です。それが、相手を大切にすることになります。

いじめ防止フォーラムに参加した二人。そして劇を演じてくれた6年生が、いじめゼロをめざそうと話してくれました。わたしは、藤岡小学校ではいじめは許されないということを宣言します。学校は、誰にとっても、楽しく真剣に勉強したり友達と遊んだりするところです。嫌なこと、悲しいことがあったときには、一人で悩まないで、自分の正直な気持ちを誰かに話したり、相手を傷つけてしまったときには素直な気持ちで「ごめんなさい」と謝ったりして、また仲良くなれる、そんな学校にしていきましょう。先生方はみんなを応援し、お手伝いをします。いつも味方です。

今週はどのクラスでも、DVDなどを使って、身近ないじめ等の人権について考えることになっています。担任の先生とクラスの友達と一緒に、思ったことを話し合ってください。そしてクラスのみんながお互いに思いやり親切にしあえるクラスにしてください。親切と思いやりでいじめゼロ、そんな藤岡小にみんなですていしましょう。（了）